

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 変更日 2026年7月3日（金）ご依頼分より

■ 変更内容

測定実施場所変更に伴い、検査項目名称、項目コード、
検査方法、所要日数、注意事項を変更いたします。

■ 対象項目

検査項目	一般細胞診
	細胞診（婦人科）
	細胞診〔喀痰集細胞法〕（Class判定）
	細胞診〔喀痰集細胞法〕（ABC判定）



■変更一覧表

項目コード (旧項目コード)	検査項目	変更内容	新	現	備考
00541 0 (0541 8)	一般細胞診	検査項目	細胞診 (喀痰・体腔液・その他)	一般細胞診	材料 (尿以外) が変更となります。尿材料はLBC法への集約に伴う受託中止です。※
		項目コード (旧項目コード)	00X42 1 (0X42 1)	00541 0 (0541 8)	
		検査方法	(喀痰)パピニコロウ染色 (その他)パピニコロウ染色とギムザ染色、必要に応じPAS染色	(喀痰)パピニコロウ染色 (その他)パピニコロウ染色とPAS染色またはギムザ染色	
		所要日数	6~9日	4~7日	
		測定実施場所 (記号)	株式会社東京セントラル パソロジーラボラトリー (&P)	エスアールエルセントラルラボラトリー (記号なし)	
00695 0 (0695 8)	細胞診 (婦人科)	検査項目	細胞診 (婦人科 Class 判定)	細胞診 (婦人科)	材料 (子宮内膜) が変更となります。材料 (子宮頸部、子宮腔部、腔断端) はLBC法への集約に伴う受託中止です。※
		項目コード (旧項目コード)	00X44 9 (0X44 6)	00695 0 (0695 8)	
		所要日数	5~8日	4~7日	
		測定実施場所 (記号)	株式会社東京セントラル パソロジーラボラトリー (&P)	エスアールエルセントラルラボラトリー (記号なし)	
00542 9 (0542 5)	細胞診〔喀痰 集細胞法〕 (Class判定)	検査項目	細胞診喀痰 (蓄痰法 Class 判定)	細胞診〔喀痰集細胞法〕 (Class 判定)	-
		項目コード (旧項目コード)	00X45 8 (0X45 3)	00542 9 (0542 5)	
		所要日数	6~9日	4~7日	
		測定実施場所 (記号)	株式会社東京セントラル パソロジーラボラトリー (&P)	エスアールエルセントラルラボラトリー (記号なし)	
05038 4 (5038 4)	細胞診〔喀痰 集細胞法〕 (ABC判定)	検査項目	細胞診喀痰 (蓄痰法 ABC 判定)	細胞診〔喀痰集細胞法〕 (ABC 判定)	-
		項目コード (旧項目コード)	00X46 7 (0X46 1)	05038 4 (5038 4)	
		所要日数	6~9日	4~7日	
		測定実施場所 (記号)	株式会社東京セントラル パソロジーラボラトリー (&P)	エスアールエルセントラルラボラトリー (記号なし)	

- ・ 新ではすべての項目について分画子の設定がありません。
 - ・ 提出方法、提出容器は従来通りで変更はありません。
- ※ 中止は、SRLNEWSNo.2026-015 中止 をご確認ください。

細胞診検査の注意事項

新	現
<p>・細胞診検査は、必ずしも確定診断ではありません。検査結果はご提出いただいた標本において下されたもので、病変全体を反映することではないことを、あらかじめご承知おきください。組織診検査などによる総合的は診断をお勧めします。（検診検査は偽陰性となる可能性があります。）</p> <p>・2020年【有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン更新版】（国立がん研究センター）において、「検体は医師採取のみとし、自己採取は認めない」と採取法について明示されました。当該発表を踏まえ、日本臨床細胞学会及び日本産婦人科医会の方針、また今後の動向によりご要望に沿えない場合がございます。予めご了承のほどお願いいたします。</p> <p>・下記については上表よりも日数がかかりますのでご了承ください。</p> <p>・問い合わせなどの処理工程が増えるものは、上表より日数がかかる場合があります。</p> <p>・コンサルテーションにより上表よりも日数がかかる場合があります。</p> <p>・集団検診などにより1回で多数のご依頼をいただく場合は、上表よりも日数がかかる場合があります。事前にご相談ください。</p> <p>・健診時期などによる繁忙期（10～12月頃）は、上表よりも日数がかかる場合があります。</p>	<p>細胞診検査は、必ずしも確定診断ではありません。検査結果はご提出いただいた標本において下されたもので、病変全体を反映することではないことを、あらかじめご承知おきください。組織診検査などによる総合的は診断をお勧めします。（検診検査は偽陰性となる可能性があります。）</p> <p>一次スクリーニングを東京セントラルパソロジーラボラトリー（TCPL）へ委託する場合がございます。その場合、細胞診検査報告書の細胞検査士名の後ろに「T」マークが表示されます。</p>

※下線部分が変更点です。